

2026年8月20日
公益社団法人 日本軽種馬協会

アラムシャー（IRE）の死亡について

静内種馬場で功労馬として繋養されていたアラムシャー（IRE）（2000 年生、父 Key of Luck (USA)、母 Alaiyda (USA)）が 8 月 20 日、老衰のため死亡しました。26 歳でした。

アラムシャーは、アガ・カーン殿下の所有馬として現役時代に活躍し、2003 年の愛ダービー（G1）、キングジョージ VI 世 & クイーンエリザベス S（G1）を制するなど、欧州のトップホースとして輝かしい競走成績を残しました。

現役引退後は日本軽種馬協会の種馬場で種牡馬として供用され、2017 年の種付シーズン終了後に種牡馬を引退。その後は功労馬として静内種馬場で余生を送っていました。

（管理者コメント）

現役時代は決して大きくない馬体ながら世界のトップレベルで活躍し、特にキングジョージでは、4 コーナーから抜群の手応えで進出し、直線で力強く抜け出した姿が今でも強く印象に残っています。

種牡馬としては残念ながら産駒数には恵まれませんでした。母の父としても活躍馬を送り出すなど、その血を後世に残すことができました。

長い間、本当にお疲れさまでした。安らかに眠ってほしいと思います。